

記載例
記載等を要する箇所は以下のとおりです。

奨学資金借用証書

令和〇年〇月〇日

西都市長様

借用金額	百万	十万	万	千	百	十	一	円
	¥	9	6	0	0	0	0	

収入印紙

私が奨学生として貸付けを受けた奨学資金について、西都市奨学資金貸付条例及び西都市奨学資金貸付条例施行規則の規定に従い、以下のとおり遅滞なく償還することを誓約いたしますので本証書を提出します。

また、私に係る重要事項（氏名、住所等）の変更があったときは規定に従い直ちに届け出ますが、私とその届出義務を怠り、市が送付する書類が到達しなかった場合は、私に到達があったものとみなされることについて異議ありません。

その他、次の事由が生じたときは、期限の利益が喪失することについて異議ありません。

- (1)借用者に破産及び民事再生の申立てがあったとき
- (2)住所変更を怠るなど借用者の責めに帰すべき事由によって借用者の所在が不明となったとき
- (3)借用者が市に対する債務の履行を遅滞したとき
- (4)借用者が市の規定に従わないとき
- (5)その他債権保全を必要とする相当の事由が生じたとき

- 1. 償還期間 令和〇年10月から令和〇年〇月まで
- 2. 償還額 月額〇〇〇〇円（所定の月に月額3倍を償還）
- 3. 償還方法 納付書による

借用者	住所	西都市〇〇〇〇
(奨学生)	氏名	〇〇〇〇 印
	連絡先	090-0000-0000（携帯電話） 0983-00-0000（固定電話）

上記奨学資金の償還についての誓約を履行させることを私たちが保証いたしますとともに、償還が遅滞したときは、私たちが償還の義務を負うことを誓います。

また、私たちに係る重要事項（氏名、住所等）の変更があったときは規定に従い直ちに届け出ますが、私たちがその届出義務を怠り、市が送付する書類が到達しなかった場合は、私たちに到達があったものとみなされることについて異議ありません。

その他、次の事由が生じたときは、期限の利益が喪失することについて異議ありません。

- (1)借用者に破産及び民事再生の申立てがあったとき
- (2)住所変更を怠るなど借用者の責めに帰すべき事由によって借用者の所在が不明となったとき
- (3)借用者が市に対する債務の履行を遅滞したとき
- (4)借用者が市の規定に従わないとき
- (5)その他債権保全を必要とする相当の事由が生じたとき

連帯保証人	住所	西都市〇〇〇〇
(保護者)	氏名	〇〇〇〇 印
	連絡先	090-0000-0000（携帯電話） 0983-00-0000（固定電話）

連帯保証人	住所	西都市〇〇〇〇
(保護者以外)	氏名	〇〇〇〇 印
	連絡先	090-0000-0000（携帯電話） 0983-00-0000（固定電話）

※連帯保証人は印鑑登録証明書を添付し、登録印を押印すること。
 ※連帯保証人欄の保護者とは、借用者(奨学生)が成年に達しているときは成年に達する前に保護者であった者とする。